

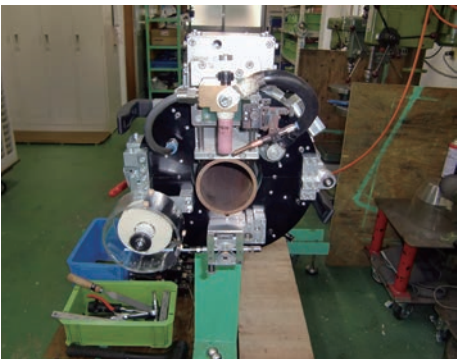
業界初の 回転ケーブルレス 自動溶接装置

ポータブル切断・開先加工はおまかせ

カットランドジャパン(大田区西六郷、森健一社長、03・6424・9684)は、各種発電所メンテナンス工事用機械(主に配管切断・溶接機器)の製造・販売を行っている。

同社の主力商品は社名にもあるカットランド、即ち、パイプ切断の際、突切り加工から開先加工まで一貫した切削作業のできる開先加工機である。各カンナ台の付け替えだけで突切り、端面、内径、開先加工全ての切削作業が可能だ。加えて、同社の顧客ニーズに応じた対応力により、大手プラントメーカーを始めとして、取引先の信頼は厚い。

同社では、現状に満足せず、新たに業界初の回転ケーブルレス(RCL)自動溶接装置の開発・実用化に成功(特許申請中)。同製品は、従来機のようにケーブル・ホース類を配管に巻き付ける必要がないこ



新商品の回転ケーブルレス自動溶接装置

とが最大の特徴であり、ケーブル・ホース類を巻き付ける際に起こる断線や輻射熱による影響もなく、機械の取付け・取外しもワンタッチで行えるため、作業時間を大幅に短縮させることを可能にしている。

森社長は、機械工学を学んだ後、営業畑で取引先とのパイプを構築し独立。同社は、卸売りから製造業へと業種の転換を進め、主力商品

にこだわらず、取引先にニーズに合わせた設計・製造が出来ることを武器として成長を続けている。森社長は、「社員は自分を含め3人のみだが、顧客のニーズに即対応できる体制を整えており、その品質は他社に負けない自信がある。新製品は海外の事業からも引き合いがあり、今後拡販を狙っていきたい」と意気込みを語る。



主力商品のカットランド